

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 23 日

評価対象事業	評価者	青少年課長	瀬谷 公重
こども-26 育成事業	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	主管課	青少年課
		関連課	
総合計画上の位置付け	分野	青少年育成	施策の方針
			青少年の育成・支援

1 事業の目的

対象	青少年等
意図	地域社会における青少年等の健全育成のため。 青少年の健全育成の指針となる基本理念・基本目標・取組方針の推進を図るため。 青少年の非行・問題行動の早期発見とその指導を行うため。
効果	地域の青少年指導者として健全育成に関与するとともに、子ども達が様々な体験を通し心身ともに健やかに成長すること を図る。青少年が心身ともに健やかに成長し、個性豊かな人間形成を図り、自立できるよう、家庭・学校・地域を基盤とする 良好な環境づくりを進める。青少年の非行・問題行動への取り組みを図る。

2 平成27年度に実施した事業の概要

- ・研修会、講演会を開催し青少年指導員としての活動内容の向上に努めた。
- ・キャンプ等、小学生を対象とした各事業を実施した。
- ・成人のつどいを実施した。
- ・「鎌倉市子ども・若者育成プラン」を推進するとともに、次期プランの策定を行った。
- ・各中学校区を中心に市内をパトロールした。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
人 口	177,464人	177,243人	人 口	176,869人	・各年3月31日 (住民基本台帳) ・事業の対象者 7歳～20歳
世 帯 数	80,368世帯	80,676世帯	世 帯 数	80,928世帯	
事業の対象者数	20,601人	20,868人	事業の対象者数	20,978人	
決算値(千円)	5,501	5,245	当初予算(千円)	7,683	
国県支出金	334	328	国県支出金		
地方債			地方債		
その他			その他		
一般財源	5,167	4,917	一般財源	7,683	
人員配置数	1.5	1.5	人員配置数	1.5	
人 件 費(千円)	11,937	12,266	人 件 費(千円)	12,316	
総事業費(千円)	17,438	17,511	総事業費(千円)	19,999	
市民1人当りの 経費(円)	98	99	市民1人当りの 経費(円)	113	
対象者1人当りの 経費(円)	846	839	対象者1人当りの 経費(円)	953	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○-負担導入済 ○-2. 適正な受益者負担を導入している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー 青少年指導員連絡協議会
事業内容の方向性	☒ a: 事業内容を見直す ⇒ ☐ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの内容 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 ・平成27年度から始めた青少年育成団体相互の連携も継続しつつ、平成28年度に改訂した「鎌倉市子ども・若者育成プラン」の重点目標に取組んでいく。 事業へ統合
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 ・青少年の健全育成を図るため、地域や青少年団体との情報交換をしながら、更に連携を図っていく。 ・平成28年度に改訂した「鎌倉市子ども・若者育成プラン」の重点目標の一つの支援体制の充実を図るために、セミナー等を開催する。予算規模は現状維持とした。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	・平成27年度は、青少年指導員を中心とした「子どもキャンプ」や街頭指導員等による「街頭指導・キャンペーン」などの取り組みを通して、青少年の健全育成を図った。 ・平成28年度に改訂した「鎌倉市子ども・若者育成プラン」の重点目標である「支援体制の充実」として、困難に直面している若者に対する理解を広め、就労等への支援体制を増やすためのセミナー等を開催する。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	・平成27年度までの「鎌倉市子ども・若者育成プラン」の特に重要な取組について具現化し、平成28年度以降の「鎌倉市子ども・若者育成プラン」に反映させていく。 ・全市的に取り組んでいくために、各地域から青少年指導員を推薦していただいているが、欠員があるので、充足していく必要がある。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	・現在の「鎌倉市子ども・若者育成プラン」の特に重要な取組を次期プランでは、3つの重点目標として、施策の方向性や取組むべき問題等について、「鎌倉市子ども・若者育成プラン推進・策定部会」や「青少年問題協議会」において検討を進めた。	☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	・平成28年度に策定した「鎌倉市子ども・若者青プラン」の特に重要な取組について具現化していく。 ・青少年指導員については、全市的に取り組んでいくために、各地域から推薦していただいているが、高齢化もあり、欠員が生じているという課題がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	青少年指導員欠員地区の担い手の確保					単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
近年、60歳を過ぎても引き続き仕事に就いている人が多く、青少年指導員のようなボランティア活動をする人が減少傾向にあるため。	目標値	75	75	75	75	75		75		
	実績値	65	63							
	達成率	86.7%	84.0%							
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	青少年指導員の任期は、2年であるが、近年は、60歳を過ぎても引き続き就労に着く人が多く、青少年指導員活動をして下さる新規の人の推薦が難しくなっている。欠員のある地区については、引き続き、自治町内会長へ推薦者を出していただけるようお願いをしていく。									

● 事業に関する特記事項

☐ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☒ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	--